

# ようこそ

## 花まつりだよ

## 白象パレード!!



(上) 満開の桜に見送られてパレード出発  
(大村児童公園)

(左) おしゃかさまに甘茶をかけます  
(山門特設花御堂)

第 10 号

浄土真宗本願寺派

円光寺

〒870-0108

大分市三佐3-15-18

TEL.097-527-6916

FAX.097-527-6949

## お釈迦さまの誕生

今からおよそ二千五百年前のことです。インドの北、ヒマラヤのふもとにカピラという小さな国がありました。

スッドーダナ王とお妃のマーヤーさまには、子どもがいませんでしたが、ある夜、マーヤーさまは白い象の夢をみて赤ちゃんをやどされました。マーヤーさまは、出産のためにご自分の国へ帰る途中、ルンビニーの花園に立ち寄られ、そこでお生まれになったのがお釈迦さまです。

お経さまには、お釈迦さまが誕生した時、空から花びらと甘い雨が降りそそいだといわれ、生まれてすつと立ち上がり、七歩あゆまれ、右手は天を、左手は地を指さして「天上天下唯我為尊、三界皆苦我当安之」(私は、すべての人びとを幸せにするために、尊いいのちをもって、生まれてきた)と言われたと、伝えられています。

お釈迦さまは、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の迷いの世界(六道)を超えて、仏のさとりを開いてくださいました。お釈迦さまが説かれた教えで仏教といい、この私が仏(覚者)に成らせていただく教えであります。

お釈迦さまが生まれた四月八日を「花まつり」といい、きれいなお花で飾った花御堂の誕生仏(お釈迦さまが生まれたときのおすがた)に、甘茶をかけて、お釈迦さまのお誕生をお祝いします。

円光寺でも、今年も四月七日に花まつりの会をしました。大村児童公園からお寺まで、うららかな春の陽光の中を白象パレードをし、山門の特設花御堂でお勤めをして、お参りされた方々に甘茶とお菓子のおせつたいをしました。

お釈迦さまの教えを聞いて、人と生まれた喜び、いつばい、いのちいつばい輝かせて生きましよう。

# ようこそ、円光寺へ

## 初めてのあなたへ、お寺参りのススメ

まずは、あなたのお寺度チェックです。

**問1** あなたにとって、お寺はどういうところですか？

①葬式・法事をするところ  
②お年寄りが集まる場所  
③暗くて何か不気味なところ

大半の方は「お寺は私には関係ないところ。だからお参りしない」のではないのでしょうか。それは、仏教を「死んでから後の教え」と思い込んでいるところに原因がありそうです。

**問2** これまでに「お寺参りしませんか」と誘われたとき、あなたは次の理由で断りませんでしたか？

①まだ若いから  
②忙しいから  
③ご利益がないから  
④悪いことをしていないから

裏返せば、お寺参りしている人は、お迎えが来るような年になつて、暇で暇で仕方がないから、お寺参りでもしようかという人なのでしょう。

そこで、今度は逆にあなたからこう問われると思います。

**問3** では、何のためにお寺参りするのですか。そもそもお寺

は何のために建てられたのか？  
その前に、仏教とは何かを知っていただきたいと思えます。

仏教とは、仏さまの教えです。仏とは覚者、真実に目覚めた方、さとりを開かれた方です。その真実のさとりの中味を仏教といえます。それは、迷いのこの私にさとりの仏に成らせていただく(救われる)教えです。

仏教は死んでから後ではなく、今ここに生きているこの私が聞かせていただく教えなのです。その教えを聞く中心の道場がお寺です。お寺を聞法の道場といえます。私が仏に成る道を



イスもたくさん用意しています  
ゆっくりゆったりおまいりください(2006年敬老会)

たずねていくところがお寺なのです。

浄土真宗のお寺の法要行事には、お勤め(読経)があつてお説教(法話)があります。仏徳讃嘆といつて、この私を救つてくださる阿彌陀さまのお徳(おはたらき)をほめたたえます。南無阿彌陀仏とお念仏を申し、阿彌陀さまにお礼をします。

浄土真宗では、仏さまに祈つたり願つたりはしません。浄土真宗は、治らない病気が治るとか、宝くじが当たるとか、受験に合格するとか、何でも自分の思い(我欲)通りにしてやるといふ宗旨ではないのです。

**お寺に対する考えが少しは変わってきましたか。**  
まだまだわからないことばかりだと思えますが、そこは聞いて

ていただきたいと思えます。仏法聴聞です。それこそ、聞かねばわかりませんから。  
お寺は誰にでも開かれたところです。有縁の皆さんも一緒に、あなたのお参りをお待ちしております。



お花もいっぱい、あなたをお迎えます  
(2007年花まつり)

## ご案内

### ◆宗祖降誕会

5月20日(日) 10:00~15:00  
(初参式、バザー、もちまき)

### ◆常例法座

6月15日(金) 10:00~11:30  
7月16日(月) 10:00~11:30

### ◆初盆会・盆おどり大会

8月12日(日) 19:00~21:00

### ◆全戦没者追悼法要

(平和を願う鐘つき)  
8月15日(水) 11:00~12:00

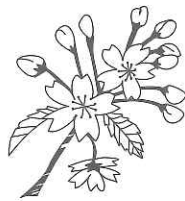
「月に一度は寺参り。  
誘い誘われ 皆共に、つとめて  
聴聞、はげみましよう」

### お朝事「法話」より

先日、大分興業の跡地にナフコ鶴崎店がオープンしました。歩いて5分のすぐ近くで、私もさっそく買い物に行きました。二階建ての大きな建物で、エスカレーターもあり、私たちの田舎に突然都会がやってきたという感じで、大変感激しました。終日ひっきりなしに大勢の人が押し寄せたということですが、行くと地元の三佐の人にかくさん会って、何かほっとしました。笑い話みたいですが、隣り近所の人とナフコで会って「久しぶりやなあ。元氣かえ」と挨拶をしているなんてことです。お隣り同士で、普段から会っているだろうにと思いますが、今は一軒一軒の家々でそれぞれがそれぞれ生活していますから、ナフコでそれこそ久しぶりに会うということにもなるのでしようか。

とができる楽しみもあります。阿弥陀さまのお浄土という世界を、お経さまには俱会一処と説かれてあります。俱に一処で会うという世界です。そのお浄土に私が往生、生まれさせていただく目的は、阿弥陀さまが迷いのこの私をさとりのお浄土にしてくださいにありませう。阿弥陀さまが「すべての生きとし生けるものを分け隔てなく救う」と、お浄土という世界をつくってくださったのです。そのお浄土は私だけではなく、すべての人に開かれた世界です。お浄土は私たちにとって、懐かしい先祖有縁の仏さま方と再び会うことができる世界だとお聞かせいただきます。お浄土に私はまだ往つたことがないけれども、お浄土は先に往かれた私の大切な方々が私を待っていてくださる、懐かしいのちの古里です。

目的は何でしょうか。先ほど拝読いたしました御文章さまにもありましたが、ただ酒飯茶のためにお寺にお参りするのではありません。我が身の後生の一大事を仏法聴聞させていたただくためにお寺にお参りさせていただくんです。今朝も皆さんがお寺の本堂の阿弥陀さまのもとに集うことができました。お互いにそれぞれ生活ぶりは違いますが、お念仏申しつつ、お浄土への人生を生きる私たちです。私一人じゃなかつた、私の隣りにも隣りにもお念仏のお同行、お仲間がたくさんいらつしやいました。その頼もしさ、心強さに支えられて、今日も一日生きていきたいと思えます。(四月十五日)



### 散りゆく花に

### 南無阿弥陀仏の大地あり

(山門掲示板より)

特にダイエットをしたというつもりもないのに、急に痩せた。肥満体を気にしていただけに、ちよつと嬉しかった。が、何か変だと、成人病検診に行つた。◆即レッドカード! 「病気をもらつたということでは」と主治医の先生。異常な検査数値はどうにもごまかせない。「食事の気をつけ、運動しなさい」と、検診の度に何度も言われたことだが、今回ばかりは重みが違う。ここは医師におまかせするしかない。◆「人生は苦なり」とはお釈迦さまが説かれる真実である。生老病死の四苦という。人間は生まれて老いて病んで死んでいく。何とももの悲しい理だが、どんな人も免れることができない。◆僧衣をつけて何度もお取り次ぎしてきたことだが、我が身のこととなると、現実をそのまま受け入れることは本当に難しい。検査数値に、医師の言うことに、医学書を読んで、心揺れる。まさに苦悩の凡夫である。◆「病気に勝とうなんて思わないで、病氣と長く付き合っていきなさい」と主治医。私が病氣と向き合う、苦悩と向き合うのではなかつた。阿弥陀さまが病氣の私に、苦悩する私にいつも寄り添い「そのまま引き受けた」とおはたらきでありました。阿弥陀さまのお慈悲のたのもしさをしみじみ思います。(住職)

